

埼玉県総合医局機構 ～Kobaton.med～ の概要



埼玉県のマスコット
「コバトン」

～Kobaton.med～



● 知事あいさつ



埼玉県では、県民の誰もが安心して医療を受けられるようにするため、何よりも現場を支える医師の方々を求めています。

このため、医学生に対する奨学金の貸与や開業医による拠点病院支援など、県内で働く勤務医の皆さんの負担軽減を図るための様々な取組を進めてまいりました。この結果、平成28年までの10年間の医師の増加数は2,089人で全国6位、増加率は21.8%と全国5位となっています。

しかしながら、本県の高齢化は急速に進むと予測されており、医療需要の更なる増加が見込まれています。したがって、医師の確保が県の最重要課題の一つであることには変わりはありません。

そこで、本県では埼玉県医師会や県内医療機関、大学などと協力して、平成25年に埼玉県総合医局機構を創設しました。これは他県にはない取組です。

ここでは、本県の医師確保に関する情報発信や各種の相談に集中的に対応しています。また、若手医師のキャリアアップ支援や女性医師の復職支援などを通じて医師の県内定着を進める取組のほか、奨学金貸与者などを医師が不足している病院や地域に派遣するなどの重要な役割を果たしています。

さらに、平成29年4月から、シミュレーター機器等を用いた教育施設である「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」をさいたま新都心に本格オープンし、本県の医療教育・研修環境の向上を一層図っていきます。

埼玉県での勤務をお考えの医師の方々は、是非とも「埼玉県総合医局機構」をご活用ください。本県の医療をより充実させるため、一緒に働いていただける医師の方々を心からお待ちしています。

埼玉県知事 上田清司

埼玉県総合医局機構

オール埼玉で一体的な取組を実施

埼玉県

埼玉県医師会

医師の確保・派遣

埼玉県立大学

医師の支援

県内医科大学

関係団体

県内医療機関

● センター長あいさつ



医師不足と言われて久しく、各方面で対応策が講じられてきましたが、思うような成果が得られていません。しかし、機能的かつ有機的システムを構築することにより、医師不足を解消する

事ができるのではないかと考え、検討した結果可能であるとの結論に達しました。

そのシステムとして埼玉県では、かつて大学医局が行っていた継続的医師派遣等の優れた機能を有する埼玉県総合医局機構を立ち上げました。

機構には、医師会、県内医療機関、大学などから多くの医療関係者の皆さまに参画していただき、オール埼玉体制で医師確保等の対策に取り組んでいます。

平成29年4月には、広く県内医療従事者が利用できる研修施設である「埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター」がオープンしました。このセンターでは、救急医療や様々な専門スキルを学ぶ研修を、シミュレーター機器等を用いて実施することが可能であり、埼玉の地域医療を担う医師の教育・研修環境の向上が期待されます。

このほかにも、埼玉で働いて良かった、埼玉で働いてみたいと思われる魅力ある医療環境の県にするため、指導医の派遣、キャリア形成の支援、女性医師の勤務環境整備や復職支援などオール埼玉体制でサポートいたします。

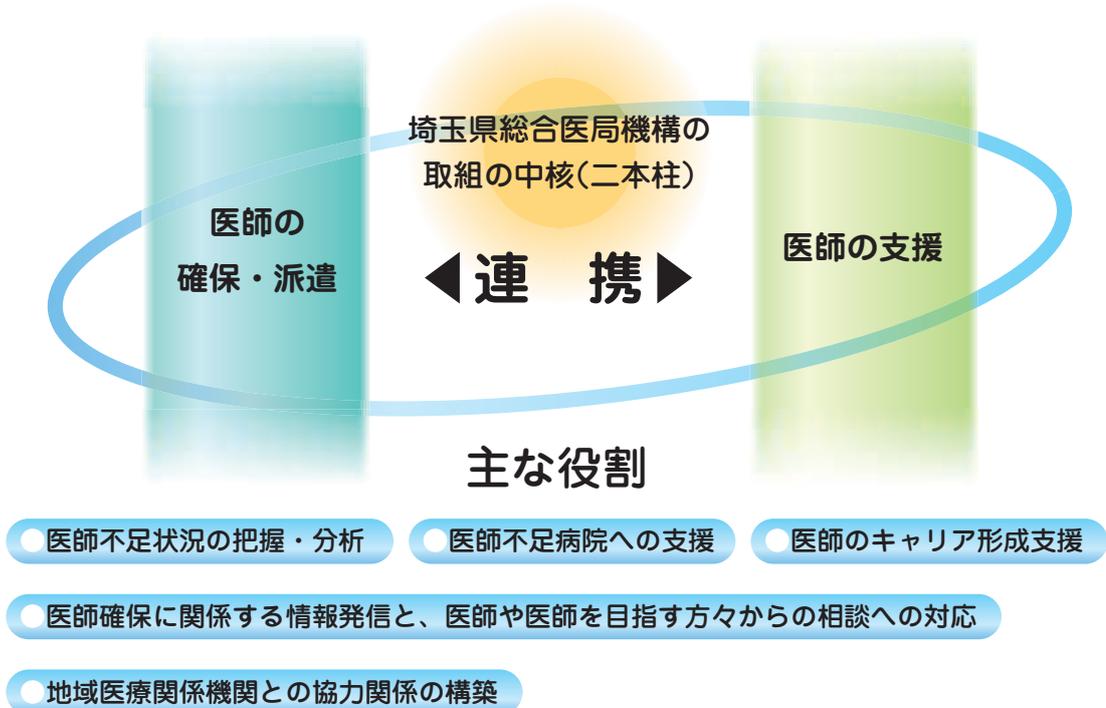
埼玉県総合医局機構へのご支援、ご協力をお願いするとともに、皆様の参加をお待ちしております。

埼玉県総合医局機構
センター長 金井忠男

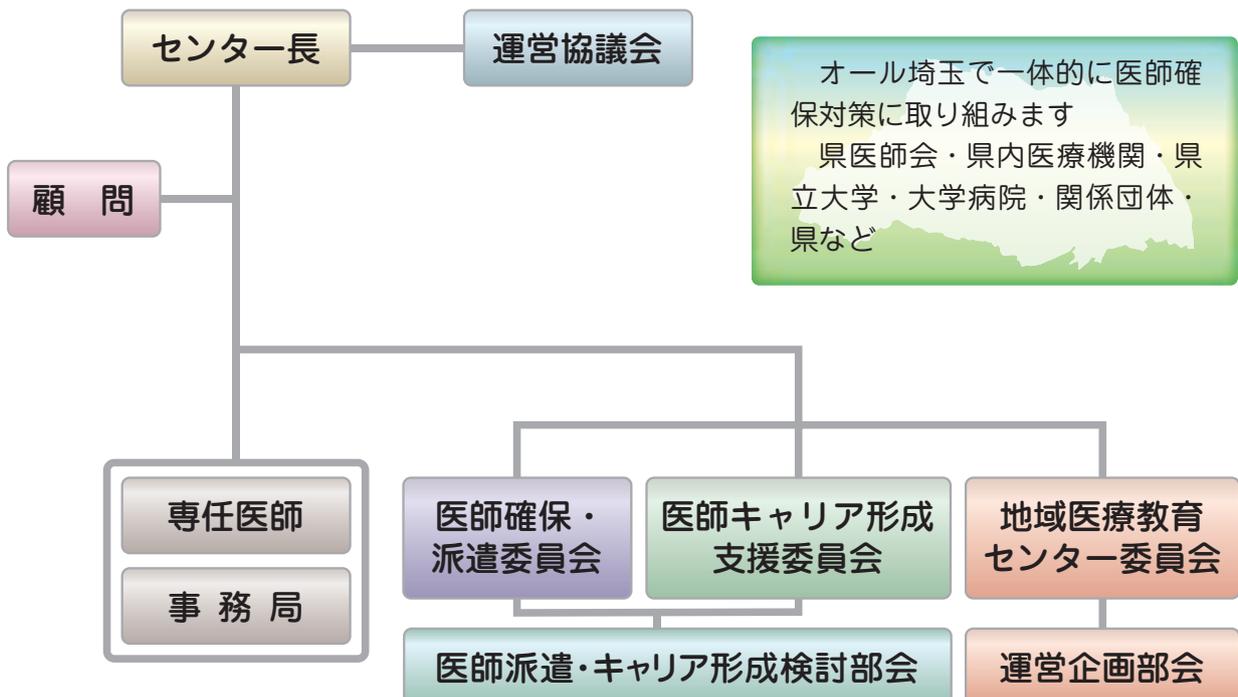
● 埼玉県総合医局機構について

埼玉県総合医局機構は、医師の確保や医師の地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むコントロールタワーとして、医師確保対策を一元的に実施します。

平成25年12月 埼玉県総合医局機構 創設



● 埼玉県総合医局機構の組織



● 埼玉県総合医局機構の主な取組

○ 医師の確保・派遣

医学生への奨学金貸与

埼玉県内や県外の大学医学部に通う医学生に対して、奨学金を貸与しています。一定の要件に該当する方は返還が免除となります。
→詳しくは5ページで

臨床研修医・後期研修医への研修資金貸与

埼玉県内で臨床研修を受ける研修医の方や、後期研修を受ける研修医の方に研修資金を貸与しています。一定の要件に該当する方は返還が免除となります。
→詳しくは6ページで

医師の確保事業（医師無料職業紹介事業）

医師の方に埼玉県総合医局機構の医師バンクに登録して頂き、県内の医師不足病院に紹介しています。
→詳しくは7ページで

ベテラン指導医の紹介

ベテラン医師の方に埼玉県総合医局機構に登録して頂き、指導医として県内の病院に紹介しています。
→詳しくは9ページで

○ 医師の支援

医師がローテーションしてキャリア形成できる仕組みの構築

埼玉県総合医局機構の派遣する医師が、県内のどのような地域や病院で勤務してもキャリア形成ができる仕組みを構築し、医師がキャリア形成に不安を持つことなく病院に勤務できるようにしていきます。
→詳しくは8ページで

女性医師等の復職支援事業の概要

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、復職研修や短時間勤務のために代替職員の雇用等を行った病院に経費を助成しています。
→詳しくは8ページで

地域医療教育センター

各種シミュレーター機器による様々な専門研修の実施が可能です。

→詳しくは10ページで

○ その他の事業

高校生の志 養成事業の実施

高校生向けの病院見学や医療体験会を開催し、将来医師を目指す高校生の志を養成しています。
→詳しくは9ページで

● 埼玉県医師育成奨学金（出身者奨学金）貸与制度の概要

医学部入学希望者	
貸与資格	次の①から③のすべての条件を満たす者 ①本人若しくは親が県内に住所を有する者又は県内の高等学校等を卒業（修了）する見込みである者若しくは卒業（修了）した者 ②県外の大学の医学を履修する課程に入学する意思を有する者 ③特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務する意思を有する者
貸与金額	入学金 100万円以内 月額 20万円以内
貸与期間	大学卒業までの期間（上限6年）
選考時期	入学前選考（書面・面接）
募集人数	17名
返還免除要件	奨学金貸与期間の1.5倍の期間、特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務したとき。

※平成30年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。



入学金の貸与
(100万円以内)

医学部入学時



奨学金の貸与
(月額20万円以内)

医学部卒業・義務年限期間

- ▶ 義務年限中(貸与期間の1.5倍)は、特定地域の病院や特定診療科等で勤務
- ▶ (一定の条件を満たせば) 奨学金の返還を免除

※特定地域：県が特に医師が不足していると定める秩父医療圏、北部医療圏、利根医療圏、川越比企（北）医療圏

※特定診療科等：県内の病院の小児科、産科、救命救急センター

● 埼玉県地域枠医学生奨学金（指定大学奨学金）貸与制度の概要

指定大学	埼玉医科大学	順天堂大学	日本医科大学
貸与資格	各大学医学部に設けられた埼玉県地域枠に選抜された学生		
貸与金額	月額 20万円		
貸与期間	大学卒業までの期間（上限6年）		
選考時期	入学後	入学前（入学試験）	入学後
募集人数	18名	7名	2名
返還免除要件	奨学金の貸与期間の1.5倍の期間、県及び埼玉医科大学が協議して指定する医療機関に医師として勤務したとき。	奨学金の貸与期間の1.5倍の期間、特定地域の公的医療機関又は特定診療科等に医師として勤務したとき。	

※平成30年度募集事例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 埼玉県臨床研修医研修資金貸与制度の概要

貸与資格	県内の臨床研修病院の臨床研修医で、研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで医師として勤務する意思のある方
貸与金額	月額10万円以内
貸与期間	研修期間（2年）以内
募集人数	4人
返還免除要件	研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターの医師として貸与期間の1.5倍に相当する期間、勤務したとき。

※平成30年度募集例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

● 埼玉県後期研修医研修資金貸与制度の概要

貸与資格	県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターの後期研修医で、研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで医師として勤務する意思のある方
貸与金額	月額20万円以内
貸与期間	研修期間（3年）以内
募集人数	8人
返還免除要件	研修終了後、県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターの医師として貸与期間の1.5倍に相当する期間、勤務したとき。

※平成30年度募集例。詳しくは埼玉県総合医局機構までお問い合わせください。

奨学金利用者の声



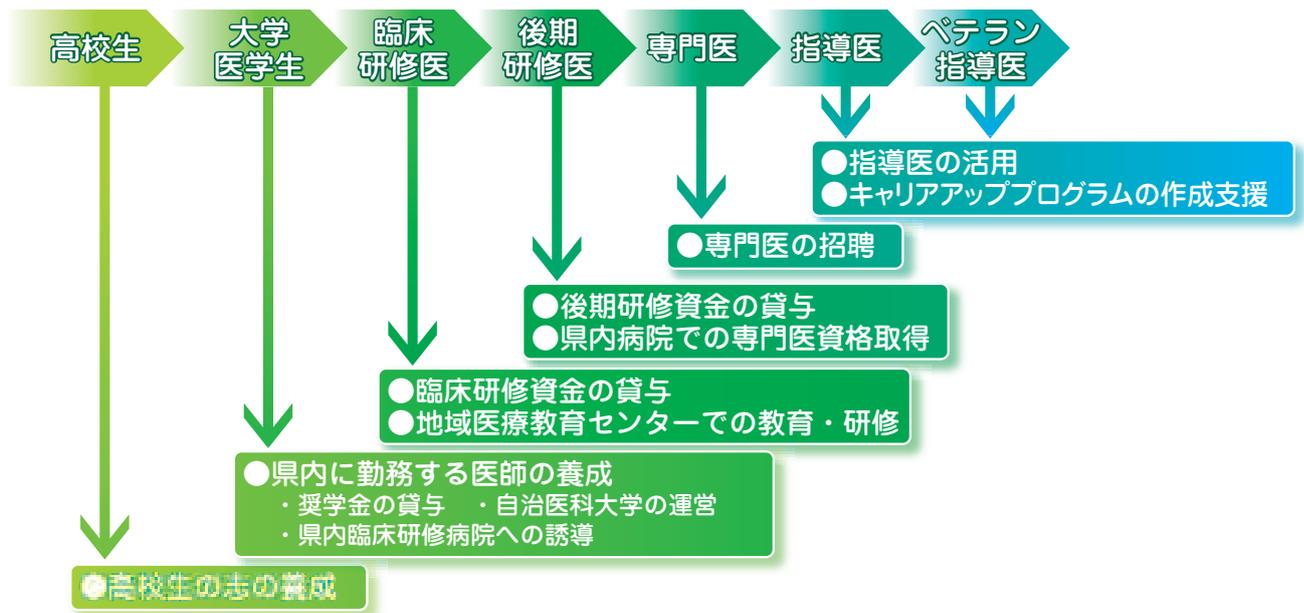
埼玉県医師育成奨学金制度は両親の紹介で知りましたが、医学部の授業は想像以上に忙しい日々で、経済的に大変助かりました。現在は臨床研修医として県内の病院で勤務を始めたところです。毎日忙しく過ごしていますが、日々勉強し、埼玉県の地域医療に貢献できるようこれから頑張っていきたいと思っています。

研修資金利用者の声

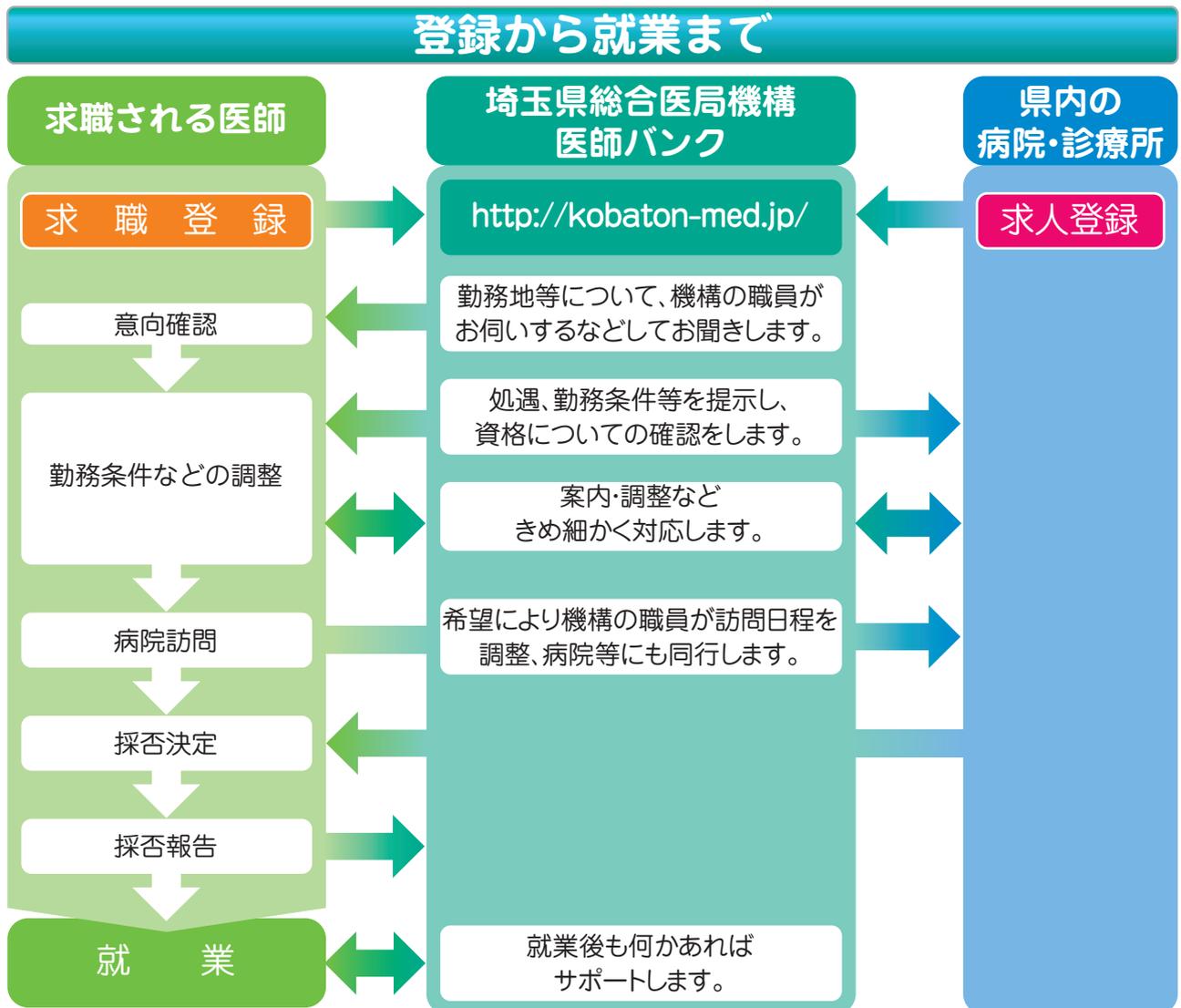
研修資金制度については、勤務先の先生から勧められて利用することにしました。時間外勤務や日直などで忙しい日々ですが、埼玉県は医師が不足していることもあり、多くの症例を学ぶことができるチャンスがあることが、働く上で大きなメリットだと思います。



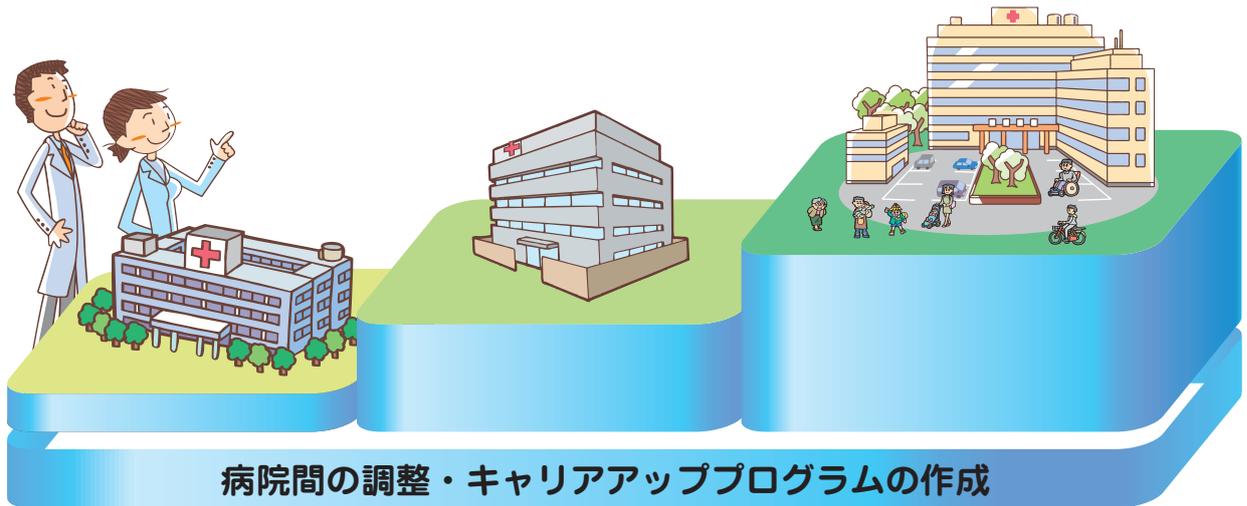
● キャリアステージごとの医師確保事業



● 埼玉県総合医局機構 医師無料職業紹介事業の概要



● 医師がローテーションしてキャリア形成できる仕組みの構築



● 女性医師の復職支援

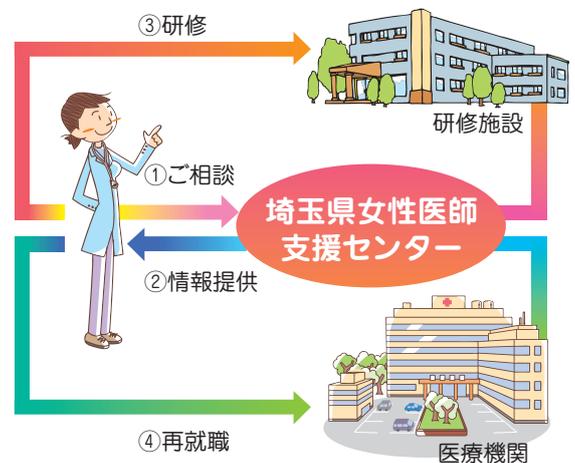
埼玉県総合医局機構では、女性医師の支援として次の事業を行っています。

① 埼玉県女性医師支援センターの運営

女性医師の就業・復職に関する相談や、育児・介護支援のための情報提供を行っています。
<http://www.saitama-joi.jp/> 電話 048-815-7115

■事業内容

1. 就業・復職に関する相談をお受けしています。
2. 育児や介護支援の情報提供を行っています。
3. 復職研修のための研修機関の調整を行っています。
4. 県内の病院の勤務体制、求人情報を提供しています。
5. 女性医師の情報交換の場を提供しています。
6. 就業後の様々な御相談に応じています。



② 代替医師の雇用



代替医師の雇用



就労の
継続

▶ 女性医師の就労を継続するため、短時間勤務等を行う女性医師の代替医師の雇用・配置を行う県内病院を支援

● 高校生の志 養成事業

埼玉県総合医局機構では、医師を目指す高校生の志を養成するため、シミュレータ等の医療器具を使用した模擬医療体験、若手医師との懇談会、病院施設見学などを実施しています。



模擬医療体験



若手医師との懇談会



若手医師との懇談会



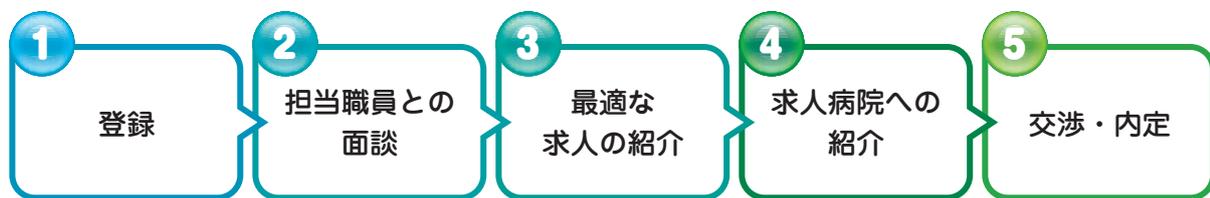
病院施設見学



病院施設見学

● ベテラン指導医紹介事業

病院の現場で指導を行うことができるベテラン医師を、指導医の受け入れを希望する病院に紹介しています。



「埼玉県総合医局機構に係るベテラン指導医紹介事業」について埼玉県医師会からお話をいただき、その目的と構想に賛同いたしました。ご紹介いただいた病院では、まだ十分ではありませんが、これまでの経験を活かしたお仕事を担当させていただきます。医師確保は難しい課題で、私の郷里でも、職業安定法第33条の4に規定する「医師の無料職業紹介所」（ドクターバンク）を県庁内に設置して、全県にわたっての病院別、科別医師の求人を一般公開しております。

埼玉県におきましても、その目的に向かって、県、医師会、病院等が一体となって本機構が充実・発展していくことが大いに期待されます。

● 地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします～

地域医療教育センターは、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設です。各種シミュレーターを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。

また、カンファレンス室やディブリーフィング室も完備し、幅広い教育・研修ニーズに対応します。

① 利用可能な研修

県内医療機関に勤務する医療従事者、医学生等向けに実施する研修

② 利用可能な施設

講義・ディブリーフィング室、研修室、カンファレンス室、シミュレーター訓練室（仮想病室、診察室）

③ 利用時間

- (1) 平日 午前9時～午後9時
- (2) 土曜日・日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- ※12月29日～1月3日は休業日

④ 利用料

原則として「無料」
※消耗品については、研修主催者をご用意ください。

⑤ 利用申請

原則として、利用日の1年前の日から3か月前の日までの間に申請（メール、Faxによる。）

⑥ その他

利用申請書のダウンロードや利用可能な機器、利用上の注意事項、利用予約状況の確認には、埼玉県総合医局機構のホームページをご利用ください。
・埼玉県総合医局機構ホームページ (<http://kobaton-med.jp/>)

教育・研修の基本方針（3本柱）

- ① 医師の確保が困難な「産科」「小児科」「救急科」の人材育成
- ② 在宅医療など多職種連携によるチーム医療に関する教育の実施
- ③ 地域医療を担う県内医療従事者向け研修の実施

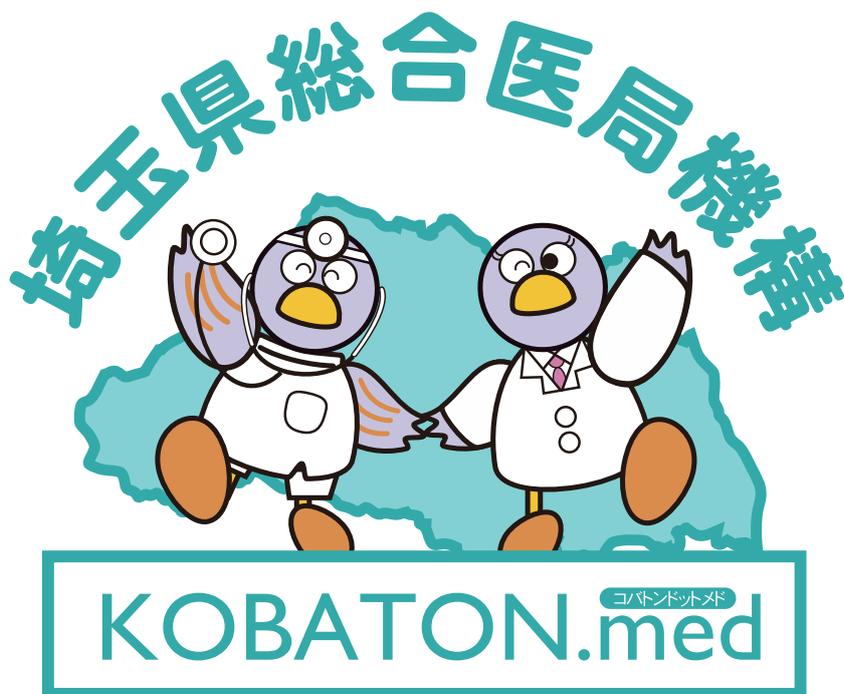
シミュレーター例

- 高規格シミュレーター SimMan3G、SimJunior、SimBaby 等
- フィジカルアセスメントモデル フィジコ
- 呼吸音聴診シミュレーター ラングⅡ
- 気管支・消化器内視鏡シミュレーター アキュタッチ
- 超音波画像診断装置（通常型・ポータブル型）
など各種シミュレーター、医療機器



埼玉県総合医局機構 地域医療教育センター

所在地：さいたま市中央区新都心1-2 県立小児医療センター南玄関側8階
TEL：048-601-4600



operated by 埼玉県総合医局機構

Kobaton.med (コバトンドットメド) は
埼玉県総合医局機構の愛称です。

埼玉県総合医局機構 事務局:埼玉県保健医療部医療人材課 医師確保対策担当

所在地:〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2(埼玉県立小児医療センター8階)

電話番号:048-601-4600

ファックス番号:048-601-4604

メールアドレス:a3560-02@pref.saitama.lg.jp

ホームページアドレス:

埼玉県総合医局機構 <http://kobaton-med.jp/>

埼玉県医療人材課 <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0709/>

平成30年4月1日発行